

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 8 月 5 日 (2021.8.5)

【公開番号】特開 2019-165810 (P2019-165810A)

【公開日】令和 1 年 10 月 3 日 (2019.10.3)

【年通号数】公開・登録公報 2019-040

【出願番号】特願 2018-53782 (P2018-53782)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 25 日 (2021.6.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行うことが可能な遊技機において、

表示手段と、

線状のデザインを少なくとも含む第 1 装飾体及び第 2 装飾体を重畳可能に備え、

前記第 1 装飾体と前記第 2 装飾体とが重畳した状態において、重なり合う線状のデザインが視認可能であり、前記第 1 装飾体と前記第 2 装飾体のうち少なくとも一方を動作させることにより、前記第 1 装飾体に形成された線状のデザインと、前記第 2 装飾体に形成された線状のデザインとの交点を移動させる特定演出を実行可能であり、

前記表示手段は、前記第 1 装飾体及び前記第 2 装飾体の動作態様に応じた演出表示を表示可能である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

(A) 遊技を行うことが可能な遊技機において、

表示手段と、

線状のデザインを少なくとも含む第 1 装飾体及び第 2 装飾体を重畳可能に備え、

前記第 1 装飾体と前記第 2 装飾体とが重畳した状態において、重なり合う線状のデザインが視認可能であり、前記第 1 装飾体と前記第 2 装飾体のうち少なくとも一方を動作させることにより、前記第 1 装飾体に形成された線状のデザインと、前記第 2 装飾体に形成された線状のデザインとの交点を移動させる特定演出を実行可能であり、

前記表示手段は、前記第 1 装飾体及び前記第 2 装飾体の動作態様に応じた演出表示を表示可能である、

ことを特徴とする。

(1) 上記目的を達成するため、本願に係る遊技機(例えば、パチンコ遊技機 1)は、遊技を行うことが可能な遊技機において、線状のデザイン(例えば、デザイン溝 231、デ

ザイン溝 2 5 1) を少なくとも含む第 1 装飾体 (例えば、第 1 装飾体 2 3 0) 及び第 2 装飾体 (例えば、第 2 装飾体 2 5 0) を重畳可能に備え (例えば、図 5 に示すように、第 1 装飾体 2 3 0 と第 2 装飾体 2 5 0 とは重ねて設けられる) 、前記第 1 装飾体と前記第 2 装飾体とが重畳した状態において、重なり合う線状のデザインが視認可能 (例えば図 9 に示すように、デザイン溝 2 3 1 とデザイン溝 2 5 1 が視認可能) であり、前記第 1 装飾体と前記第 2 装飾体のうち少なくとも一方を動作させることにより、前記第 1 装飾体に形成された線状のデザインと、前記第 2 装飾体に形成された線状のデザインとの交点を移動させる特定演出を実行可能である (例えば、図 9 (a) ~ (c) に示すように、交点 a 、 b 、 c 、 d が移動する) 、ことを特徴とする。